

# 京都品質工学研究会のご案内

品質工学とは、将来起こるかもしれないトラブルを未然に防いで、製品が引き起こす様々な損失を最小化することを目的とする、汎用性の高い技術方法論です。安定した設計・製造技術を効率よく開発する手法として、様々な技術分野や開発プロセスで活用され大きな成果をあげています。

ここでは、京都品質工学研究会の会員募集案内、品質工学セミナーの案内及び平成29年1月に開催しました「平成28年度品質工学セミナー」についてご紹介します。

## 京都品質工学研究会の会員を募集しています

京都品質工学研究会では、品質工学を活用した開発業務の革新・効率化を目指す企業が集まり、品質工学などの開発スキルの相互学習を行い、実際の開発課題への適用について検討しています。平成29年度は初心者向け教育の充実と、個別課題相談など実践支援に注力していく予定です。

初心者の方も参加しやすい研究会です。技術開発・製品開発の改善・効率化、技術人材育成を目指す方々のご参加をお待ちしております。

### 〈京都品質工学研究会 平成29年度活動計画〉

活動内容：①定例会(年6回)

②基礎学習会(6月16日(金)10~17時、新規会員・初心者向け)

③講師による個別課題相談(随時ご相談ください。)

講師：各定例会に外部講師をお招きします。(TM実践塾 芝野広志 氏、(有)アイテックインターナショナル 中野恵司 氏を予定)

年会費：法人会員 1社2名まで40,000円(追加1名につき15,000円)

個人会員 1名 20,000円

## 平成28年度品質工学セミナー(平成29年1月25日開催)の報告

### 「パラメータ設計を体感しよう!」

ヨクスル株式会社 高木 正和 氏

前半は、講師自身の品質工学との出会いや体験を織り交ぜながら、品質工学の基本的な考え方について解説されました。

後半はグループに分かれて風洞実験や合気道の達人技についてのグループワークを行いました。

風洞実験では、円筒飛行機の「折り返し」、「厚さ」、「胴回り」を制御因子としてパラメータ設計を行いました。

合気道の達人技の実験では「右手」、「左手」、「腕を動かす方向」を制御因子としてパラメータ設計を行いました。

参加者からは、実際に品質工学を使って考えてみることの大切さや、製品の機能・システムの入出力を考えることの重要性について、意見が寄せられました。



## ■平成29年度品質工学セミナーのご案内

品質工学は難解で、敷居が高いと考える方もおられると思います。今後、品質工学を技術開発、経営戦略に取り入れるための土台作りにぜひご参加ください。

平成29年度は7月と1月(平成30年)に開催予定です。詳細が決定次第、ご案内いたします。

お問い合わせ先

京都府中小企業技術センター 基盤技術課 TEL:075-315-8633 FAX:075-315-9497 E-mail:kankyo@kptc.jp